

会議録

会議の名称	第8回 西東京市地域コミュニティ検討委員会
開催日時	平成24年10月29日 午後6時30分～8時30分
開催場所	西東京市役所 田無庁舎 3階庁議室
出席者	委員：伊村委員（委員長）、伊藤委員（副委員長）、工藤委員、岡村委員、志村委員、菅野委員、丸山委員、望月委員、土方委員 事務局：協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係主事、株式会社エックス都市研究所
報告事項	(1) 広報誌第2号発行の報告 (2) 自治会・町内会現状調査の状況報告
議題	(1) 西東京市地域コミュニティ基本方針（素案）について (2) 模擬事業について (3) 自治会・町内会運営ガイドブック（案）及びハンドブック（案）、みんなで加入しよう自治会・町内会（パンフレット案）について (4) 次年度の取り組みについて
その他	(1) 次回検討委員会開催日
会議資料の名称	資料 いこいーなの地域いーな通信（第2号） （資料1）自治会・町内会分布図（現調査時点） （資料2）西東京市地域コミュニティ基本方針（素案） （資料3）模擬事業について （資料4）西東京市自治会・町内会運営ガイドブック（案） （資料5）西東京市自治会・町内会運営ハンドブック（案） （資料6）みんなで加入しよう自治会・町内会（パンフレット案） （資料7）次年度の取り組みについて 席次表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開会	事務局： 第8回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。まず、本日の議題を確認させていただく。 議題の確認 次に、資料の確認をさせていただく。 会議資料の確認
2 報告事項	

委員長：

事務局より報告事項についての説明をお願いしたい。

報告事項（1）広報誌第2号発行の報告

事務局：

広報誌には、第6回及び第7回の地域コミュニティ検討委員会についての内容を記載している。また、地域コミュニティ活性化に向けて第1号発行以降に取り組んだ関係組織・団体との連携や自治会・町内会現状調査の経過報告などについて記載している。また、現在作成中のガイドブックやハンドブック、先進事例調査などについての紹介も行っている。

地域いーな通信は、田無庁舎や保谷庁舎、各公民館や、各小中学校に配布させていただいている。

委員長：

学校で主に見るのは、学校の職員という理解でよいか。

事務局：

ご指摘の通りである。

地域の方からの反響があったため、保谷庁舎の情報公開コーナーや田無庁舎の企画政策課にも置くようにした。民生委員・児童委員の方にもご覧いただいている。

副委員長：

ホームページでも閲覧できるのか。

事務局：

ホームページでも閲覧できるようになっている。

委員：

インターネットを使わない人のために、できればカラーで用意していただくと良い。

事務局：

配布用は、費用面からカラーにできないため、色画用紙などを使っている。

委員：

市民の方から内容について意見はなかったか。

事務局：

内容に関する意見は承っていない。

報告事項 (2) 自治会・町内会現状調査の状況報告

事務局：

資料1は、9月20日時点の西東京市内の自治会・町内会の位置図である。この時点では、150程度の自治会・町内会を把握したが、現在までに南部地域の調査も進めており、もう少しで完了するところである。引き続き南部地域の残りを調査するとともに、まだ回答いただいていない自治会・町内会にも再度声掛けを行っているところである。

資料1については、自治会・町内会のない空白エリアが示されており、防犯上の問題もあるため、取扱注意でお願いしたい。

委員：

資料1は回答のあったところだけを掲載しているのか。これまでにどの程度の回答があったのか。

事務局：

これまで350近い自治会・町内会に調査をしているが、中には解散しているところもあった。回答いただいている自治会・町内会は、170超である。100近くの自治会・町内会にご回答いただいていない状況である。

委員：

なぜ、回答しない自治会・町内会があるのか。

事務局：

西東京市の地域コミュニティに関わる施策の全体像が見えていないため、アンケートに回答すべきかどうか考えているのではないかと推測している。

委員：

コミュニティの活性化に協力できない自治会・町内会をよく調査したほうがよい。どんな活動を行っているのかよくわかると思う。

委員長：

各自自治会・町内会が、こうした調査に協力してよいか判断できないのではないかとと思われる。

議題 (1) 西東京市地域コミュニティ基本方針（素案）について

委員長：

まず、議題 (1) 西東京市地域コミュニティ基本方針（素案）について事務局から説明願いたい。

事務局：

資料2について説明

委員長：

事務局の説明に対し、何か意見はないか。パブコメは、素案を PDF などにして、ホームページ等で見られるようにするのか。また、パブコメの件数は、一般的にどのくらいあるのか。

事務局：

ホームページでも公開する予定である。パブコメについては、これまでの案件を確認してみると、1つの案件について 14～15 件程度である。

議題 (2) 模擬事業の検討について

事務局：

資料 3 について説明

委員長：

事務局の説明に対し、何か意見はないか。

委員：

模擬事業の参加団体について、ふれまちに参加している団体にも声をかけて、参加を促すことは可能か。

事務局：

参加は可能である。

委員：

参加促進について、事務局ではどんな方法を考えているのか。

事務局：

社会福祉協議会経由で説明をしたいとは考えているが、問題がなければ、協働コミュニティ課から直接説明したいと考えている。

副委員長：

保谷小学校周辺には自治会・町内会がないが、参加見込みがあるのか。

事務局：

保谷小学校から離れた自治会・町内会からは参加いただけるとの連絡を受けている。本町小学校と保谷小学校の間にある自治会などにも声を掛けようと考えている。

委員：

今回は、個々の自治会に声を掛けるという形か。

事務局：

その通りである。参加人数的には、30人ぐらいまでで収まればと考えている。

委員長：

人数が多いと模擬事業の運営ができないので、20～30人がMAXである。人数が多い場合、グループで行うなど、やり方を工夫しないといけない。

委員：

ワークショップの運営は職員が行うのか。

事務局：

協働コミュニティ課と危機管理室が行うことを予定している。

議題(3) 自治会・町内会運営ガイドブック(案)及びハンドブック(案)、みんなで加入しよう自治会・町内会(パンフレット案)について

事務局：

資料4、5、6について説明

委員長：

事務局の説明に対し、何か意見はないか。

副委員長：

芝久美クラブなどは老人会の可能性があるのではないか。

事務局：

自治会とおっしゃったところだけを掲載している。ただし、調査の中では老人会であるといったところもあった。

副委員長：

自治会以外の他の活動組織の可能性はあるか。

事務局：

ない。

委員長：

パンフレットの中の写真は、西東京市で実際に活動している写真でよいか。

事務局：

ご指摘の通りである。写真の中には、委員に提供していただいたものもある。

委員：

パンフレットの自治会名が入る欄にスペースがあるのは、今後増える見込みがあるということか。

事務局：

ご指摘の通りである。

委員：

自治会・町内会加入の世帯数だけでなく、加入人数は押さえているか。

事務局：

他の自治体の状況を見ても世帯数は押さえていても、加入人数までは押さえていない。加入人数まで押さえるのは難しいと思う。

委員：

自治会・町内会の中で一番世帯数が多いところは、どのくらいの世帯数があるのか。また、一番小さいところは、どのくらいの世帯数か。

事務局：

大きいところは数百軒、小さいところでは数軒といったところである。西東京市の自治会・町内会は、他の都市と比べ1組織あたりの加入世帯は少ないのではないかとと思われる。少ないところは付き合いが深いなどのメリットもある。

委員：

ガイドブックやハンドブックは、紙の色を分けるなどの違いを出すことはできないか。

委員長：

ガイドブックは市民には渡さないという理解でよいか。自治会を作りたいという人に渡すという理解でよいか。

○事務局：

既存の自治会・町内会の方や、これから自治会・町内会を作りたいという方に配る予定である。

委員：

ガイドブックの関係部署が掲載されている箇所について、健康課の名称も入れておいたほうがいい。

委員：

防災に内容が偏っている気がする。もう少し、近隣トラブルなどの地域課題を取り上げるべきではないかと思う。近隣トラブルが地域コミュニティの活性化を阻害している要因である。こうした中でもあいさつなどをしっかり行っていくことが大切である。

委員長：

ガイドブックの事例掲載箇所、防災やそれ以外の地域課題などをバランスよく盛り込めばよいのではないか。

ガイドブックやハンドブックの目次を見ると、防災だけではなく、防犯やその他の活動も盛り込まれているので、このあたりの内容を充実させていくことでよいと思われる。

委員：

地域包括センター富士町と書いてあるが、括弧書きで中町も入れてほしい。地域包括センターの担当地域を書いたほうがよいと思う。

委員：

社会福祉協議会の表現について、「募金活動など」という表現になっているが、社会福祉協議会としてどのような表現にすべきか提案させていただきたい。

委員：

ご近所トラブルも、知り合いになることで収まることもある。そういったことが、あいさつにつながり、防犯、防災につながるのではないかと思う。何かこうした視点でも事例として記載できないか。

副委員長：

活動事例は4つにしているが、もっと載せてもよいのではないか。

委員長：

ページ数を変えずに、なるべく多くの事例を載せられるような工夫をしてみてはどうか。

委員：

防災訓練では、安否の確認が極めて難しい。安否の確認ができるかできないかで、その自治会・町内会の質が決まってくるものと思われる。

防災訓練に参加できない人の安否の確認方法として、自宅の外に色紙をつけて、安全であるということを示す方法もある。これは高齢者の見守りにも活用できる方法で、今後、当自治会でも取り入れようと考えている。このような防災訓練から見守りにつながるといった事例を紹介するということがあってもよいのではないか。

委員長：

事例のスペースのあり方は考えてほしい。また、会則例の記載があるが、事務局がない場合はどうするのか。会長宅になるということか。

委員：

会長宅が記載される。

委員：

ガイドブックの 45 ページの「高齢者・福祉」という表現については、障害の方にも配慮した表現にしたほうがよい。障害福祉などの表現を入れたほうがよい。

議題（4）次年度の取り組みについて

事務局：

資料 7 について説明

委員長：

パンフレット配布で市民がどんな反応をするかで、次年度以降にやるべきことは変わってくるのではないと思う。何かほかにアイデアがあれば、事務局に連絡してほしい。

委員：

来年度モデル事業を実施することを検討するのか。モデル事業の検討を実施するのか。

事務局：

前半ではどこの主体と連携を進めていくのかといった議論を進めていき、その後、関係機関から人を出してもらい、協議体を作ることになる。協議体を作った地域で、どんな課題があるのかといった意見の吸い上げ程度は行いたいと考えている。

4. その他

（1）次回検討委員会開催日について

事務局：

次回の検討委員会は、12月17日を予定している。